

登録コード	MA780500	開講年度	2026				
授業科目名	精神作業療法学演習					担当教員	杉山 暢宏 他
英文授業名	Practice in Occupational Therapy in Mental Health					副担当	寺田 信生・田中 佐千恵
単位数	4	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・ 6 時限 木曜・ 7 時限	対象専攻 / 学年	作業療法学領域 / 2 年次
講義室	保健学科 1 1 1 講義室		授業形態	演習	授業科目区分	選択科目	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				精神保健・作業療法学領域の研究課題を整理し, 研究計画書の作成ができるようになる。		
(2)授業の概要	個々のテーマに沿った系統的な文献調査により内外の最新知見を入手する。研究疑問・研究仮説を明確化し, 実行可能な研究デザインを作成し, 研究計画を作成し、予備調査（実験）を行う。統計解析の手法を選定するとともに、交絡因子とバイアスを考慮した研究計画を再検討し、倫理審査を受ける。						
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	1）系統的な文献調査の方法を習得し, 情報収集能力と分析能力を高める。 2）研究計画書・倫理審査申請書を作成し, プレゼンテーションによる情報発信能力を高める。 3）コンピュータ統計の手法を学ぶ。 4）研究計画（プロトコル）を作成し倫理審査を受ける。						
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	1）系統的な文献レビューを行うことができる 2）研究計画の妥当性と倫理的配慮を説明できる 3）目的に応じた統計解析を選択し実行できる 4）研究計画をプレゼンテーションできる						
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する。 第1－5回 文献レビューと研究デザイン 第6－8回 予備調査（実験）と交絡因子・バイアスの検討 第9－11回 研究計画と倫理審査申請書の作成 第12－13回 統計解析演習 第14－15回 経過報告・プレゼンテーション						
(6)授業の進め方	演習を中心に行う。 文献調査では複数の論文を担当し, 研究のデザイン, 介入方法, 測定指標, 評価方法, ニューエビデンスをレジュメにまとめ発表する。 経過報告・プレゼンテーションは小グループで行います。自身の研究計画についてプレゼンテーションし, 相互に意見交換をします。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回の授業で次回までに準備してくる課題を伝えます。特に第1回から5回の文献レビューでは, 事前に自分の研究テーマと関連する先行研究（論文）を1, 2編要約し, 当日には予習した内容についてプレゼンテーションしてもらいます。レビューでは最新の論文を参照し, これまでの学習内容と照らして理解を深めてください。 web会議システムによる遠隔授業や研究指導を行う場合は, 事前にアクセスID, パスワードを通知する。						
(8)成績評価の方法	文献レビュー、研究デザイン、予備実験の進捗状況をその都度確認します。これらが計画通り進められていれば50点。また、研究計画書・倫理審査申請書の作成が日程通り作成されれば50点に換算する。 総合評価100点満点の60％以上を合格とする。						
(9)成績評価の基準	系統的な文献レビューができれば「水準にある(可)」, 加えて研究計画の妥当性と倫理的配慮を説明できれば「やや上にある(良)」, 目的に応じた統計解析を選択し実行できれば「かなり上にある(優)」, 先行研究と自身の研究疑問・仮説を連動させたプレゼンテーションができれば「卓越している(秀)」と評価します。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	作業療法の臨床研究に必要な手続きを実際に行うので積極的に取り組んでください。 相談等は, メールにて以下のアドレスに連絡してください。 杉山暢宏 nsugi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー 木曜日 12:00－13:00 保健学科南校舎2F 杉山 暢宏 研究室						
【テキスト, 教材, 参考書】	江藤裕之, 他 訳: APA論文作成マニュアル (医学書院) 文献調査には以下の雑誌を含める。1) Australian Occupational Therapy Journal, 2) The British Journal of Occupational Therapy, 3) American Journal of Occupational Therapy, 4)Canadian Journal of Occupational Therapy, 5) Occupational Therapy in Mental Health, その他, 適宜紹介する。						